

平成17年度9月補正予算

主 要 事 業

福 井 県

～ 事業内容の見方について ～

1. 事業名称の先頭に

「新」 とあるのは、17年度9月補正の新規事業です。

「拡」 とあるのは、17年度9月補正において拡充した事業です。

2. 事業名称の後に

☆ とあるのは、「新世紀政策推進枠事業」に該当するものです。

《「新世紀政策推進枠事業」…「福井元気宣言」の実現のために、行財政構造改革の推進により生み出す財源で行う事業（ただし施設改修、公共事業関連を除く。）》

チャレンジふくい とあるのは、「^{チャレンジ}挑戦ふくいー福井県経済社会活性化プランー」を具体化するために実施する事業です。

県民参加 とあるのは、広く意見を募集し、県民の皆さまに予算編成過程に参加していただいた事業です。

電源 とあるのは、本県等の提案により使途が弾力化した国の電源交付金・補助金を有効に活用して実施する事業です。

I 元気な産業

～ 福井の豊かさを支える農林水産業 ～

◇ 林業

〈県産材の利用率を50%以上に〉

予算額
(単位：千円)

木とのふれあい施設づくり推進事業（農林水産部）☆ 20,000

間伐材等県産材を活用した公共木造施設の整備に対し助成します。

実施主体 今立町
対象施設 和紙の里会館の収蔵展示施設
構造・規模 木造平屋建 延床面積269㎡
補助率 国1/2（町1/2）

◇ 水産業

〈地域ブランドの確立〉

⑧福井鮮魚のブランド化推進事業（農林水産部）☆ チャレンジふくい 県民参加 電源 1,200

「若狭ぐじ」（和名 アカアマダイ）のブランド化を推進し、販売拡大や収益の向上を図るための活動を支援します。

実施主体 県漁業協同組合連合会
事業内容 品質管理、市場調査、販売促進等
補助率 県1/2（県漁連1/2）

〈大型クラゲ対策〉

⑨大型クラゲ防除改良網導入支援事業（農林水産部）☆ 〈専決〉 39,200

大型クラゲを防除するための改良網（定置網、底曳網）の導入に対し支援します。

事業期間 17年度
実施主体 改良網の導入を行う漁業者
補助率 県1/3（漁業者2/3）

④水産業振興資金(大型クラゲ対策緊急資金)利子補給金(農林水産部)☆

167

<債務負担行為>

<760>

大型クラゲの被害を受けた場合、漁業者に低利の運転資金を融通する「大型クラゲ対策緊急資金」の貸付対象に、底曳網漁業者を追加するとともに、貸付枠を拡大します。

貸付対象 大型クラゲにより経営に影響を受ける漁業者

貸付枠 1億円 (現行5,000万円)

貸付限度額 定置網漁業者 300万円 底曳網漁業者(追加) 150万円

貸付期間 1年以内

II 元気な社会

～ 未来を託すひとづくり ～

◇ 未来を託すひとづくり

〈きめこまかな教育体制の拡充〉

予算額
(単位：千円)

- ⑨「五箇条の御誓文」草稿活用事業（教育庁）☆ 31,319
 明治政府の発足当初、由利公正（福井藩士）が起草した「五箇条の御誓文」草稿を取得し、学校教育の教材等として活用します。

〈食育の推進〉

- ⑩元気いきいき福井をつくる食育推進事業（イクヒカリ給食の実施）（農林水産部）☆ 2,128
チャレンジふくい 県民参加
 学校給食で実施しているコシヒカリ100%月間に加え、米飯給食を全て本県産の新品種イクヒカリで実施する「イクヒカリ100%月間」（1月）を設けます。
 事業内容 給食米の通常価格とイクヒカリ価格の差額を助成
 財 源 国1/2 県1/6 市町村1/6 JA中央会1/6

～ 生き活きやさしい福井づくり ～

◇ 元気百歳プロジェクト

〈本県が持つ高度な陽子線技術をがん治療に応用〉

- ⑪陽子線がん治療施設整備事業（健康福祉部）☆ チャレンジふくい 電源 4,000
 <債務負担行為> <98,000>
 若狭湾エネルギー研究センターにおける陽子線がん治療研究の成果や、全国的に優れたがんの診断・治療技術を活かし、陽子線がん治療施設を新たに整備します。
 事業計画 17年度～18年度 企画提案方式による業者選定、基本設計
 18年度～20年度 実施設計、設備・施設整備
 21年度 試験・調整、治療開始予定

〈健康長寿ふくい〉

⑨「健康長寿ふくい」推進特別アドバイザー設置事業（健康福祉部）☆ 1,505

チャレンジふくい 県民参加

健康長寿の研究者を本県の特別アドバイザーに委嘱し、健康長寿食に関する研究への助言を得るとともに、福井の食を中心に「健康長寿ふくい」の情報発信を進めます。

⑩職場から進める生活習慣改善支援事業（健康福祉部）☆ 950

事業所の衛生管理者を対象として、肥満改善および禁煙の指導に関する研修会を開催し、職場における生活習慣の改善を推進するとともに、医師を対象とした禁煙指導研修会を開催します。

財 源 国1/2 県1/2

◇ 一人ひとりの命が輝く福祉

〈「待機者ゼロ県」を実現〉

老人福祉施設整備事業（健康福祉部）☆ 128,250

地域の高齢者福祉の向上を図るため老人福祉施設の整備に対し助成します。

実施主体 鯖江市
 対象施設 ケアハウス
 総事業費 4億7,250万円
 補助率 国2/3 県1/3

⑪介護サービス情報提供システム整備事業（健康福祉部）☆ 15,272

介護保険事業所のサービス内容等をインターネットで公表するシステムを整備するとともに、サービス内容を確認する民間調査員を養成します。

財 源 国1/2 県1/2

Ⅲ 元 気 な 県 土

～ 福井は列島のまん中 -より近くより便利に- ～

◇福井は列島のまん中

〈北陸新幹線の早期全線建設に向けた整備促進〉

予 算 額
(単位：千円)

北陸新幹線建設事業（歳入：福井市負担金）（総合政策部） 24,666

全国新幹線鉄道整備法第13条第3項の規定により、福井市に負担金を求めます。

福井市負担 県負担金のうち本線工事（駅、線路等に係るもの）に要するものの
1/10

⑨北陸新幹線福井駅部遺跡調査事業（教育庁） 82,988

北陸新幹線福井駅部工事に伴い、埋蔵文化財の発掘調査を行います。

事業期間 17年度～18年度

財 源 諸収入10/10（鉄道建設・運輸施設整備支援機構から受託）

IV 元気な県政

～ 新しい福井県政府の樹立 ～

◇ フレンドシップ

〈市町村合併の自主的取組みを支援〉

予算額
(単位：千円)

市町村合併支援事業（市町村合併特別交付金）（総務部）☆	100,000
合併後の一体的なまちづくりを支援するため、合併市町村が市町村建設計画に基づき実施する事業に対し交付します。	
交付対象	大野市（合併前：大野市、和泉村） 17年11月7日合併
交付限度	5億円（5年間）

～ 夢あるふるさとづくり ～

◇ ふくいブランドの創造

〈ふくいブランドの発信〉

⑨恐竜博物館ブランド発信事業（教育庁）☆ チャレンジふくい	2,100
恐竜ブランドを全国に発信するため、今後の長期的展望に基づいた戦略を策定する検討会を設置するとともに、独自のミュージアムグッズを開発します。	

◇ ビジットふくい

〈観光誘客の推進〉

「ビジットふくい」観光客誘致拡大事業（産業労働部）☆ チャレンジふくい	〈債務負担行為〉	〈50,000〉
年度当初から機動的に魅力ある新しい旅行商品を生み出し、観光客誘致をより一層推進します。		
実施主体	(社) 福井県観光連盟	
事業内容	18年度春の旅行企画選考や広報などの準備	

⑧ 観光と連携した河野海岸有料道路の利用促進（土木部）

チャレンジふくい

—

周辺の観光施設等と連携した新たな料金割引サービスを提供し、河野海岸有料道路の利用と観光誘客を促進します。

実施主体 越前海岸“冬のとくとく”協議会（仮称）
 実施時期 17年11月～18年1月
 事業内容 観光施設と有料道路とのセット割引チケットの発行等

◇ 環境保全

〈社会全体で環境を保全する政策を推進〉

⑨ コウノトリ「武生」里帰り事業（安全環境部）☆

県民参加

1,600

昭和46年に本県で保護され、本年6月まで兵庫県で飼育されていたコウノトリ「武生」の剥製を、ゆかりのある武生市白山地区や県の施設等で展示し、自然環境保全に対する理解を高めるとともに、これを契機として本県と兵庫県の子どもたちの交流を促進します。

◇ まちづくり

〈歴史、文化の香りただようまちづくり〉

歴史の香る建造物保存・活用事業（土木部）☆

3,188

歴史的建造物（建築物・公共土木施設）を保存・活用するモデル的な市町村事業に対し助成します。

実施主体 武生市
 対象建築物 旧料亭「春駒」
 事業内容 公的活用に供する部分の改修
 補助率 県1/3（市2/3）

⑩ 福井城址整備事業（総務部）☆

県民参加

19,540

歴史的遺産である福井城址を県民に広く親しまれる憩いの場として整備します。

整備内容 天守台整備、桜と石垣・御廊下橋のライトアップ

◇ 安全・安心

〈安全・安心な県民生活の実現〉

- ⑧ アスベスト緊急対策事業（部局連携：総務部・安全環境部・健康福祉部・土木部・教育庁）☆ 県民参加 98,960

アスベストによる県民の健康被害を防止し、県民の安全・安心を確保するため、県独自に必要な対策を実施します。

アスベスト飛散防止のための規制等について定める条例の制定
 <条例内容>

- ・アスベスト製品製造施設に関する規制
- ・アスベスト吹付け材使用建築物の解体工事等に関する規制
- ・アスベスト吹付け材使用建築物の適正な管理に関する規定

緊急対策工事の実施および支援

<事業内容>

- ・小、中、高校、幼稚園および保育所の対策工事を支援（別に国庫補助制度有）

補助率 市町村立

財政力指数0.5未満の市町村 県1/6(市町村5/6)

財政力指数0.5以上1.0未満の市町村 県1/9(市町村8/9)

私 立

県1/6（設置者5/6）

- ・県有施設の対策工事を実施

- ⑨ 悪質住宅リフォーム被害の防止対策（部局連携：安全環境部・健康福祉部・土木部） —

高齢者等を対象とした悪質住宅リフォーム工事に関して、県民の被害防止のため必要な対策を実施します。

情報の提供および注意の喚起（安全環境部）

悪質な勧誘手口の調査・研究および対処法、成年後見制度活用等についてのアドバイスを実施

相談窓口の設置（安全環境部、健康福祉部、土木部）

リフォーム事業者に対する指導の強化（安全環境部、土木部）

- ⑩ 福井県国民保護実動訓練事業（安全環境部）☆ 17,280

武力攻撃事態等に対する国民保護措置を的確、迅速に実施できるよう、福井県国民保護計画に基づき、国と共同で住民の避難などの訓練を実施します。

実施時期 17年11月27日

実施場所 美浜町

財 源 国10/10

＜防災体制の充実＞

⑧道路防災対策事業（土木部）☆ 県民参加 98,000

落石や崩壊の危険性のある箇所を把握するため、県管理道路の法面について防災点検を再度、実施します。

事業期間 17年度～18年度
実施箇所 約3,500箇所

⑨浸水想定区域等調査事業（公共）（土木部） 27,300

氾濫時に大きな浸水被害が想定される県管理河川について、浸水想定区域を指定・公表するための調査を行うとともに、避難場所等の情報を記載したハザードマップ作成に関する市町村の調査経費に対して助成します。

浸水想定区域指定調査（実施主体：県）

事業期間 17年度～18年度
対 象 17河川
財 源 国1/3 県2/3

洪水ハザードマップ作成調査（実施主体：市町村）

補助率 県1/3（国1/3 市町村1/3）

防災情報ネットワーク再整備事業（安全環境部）☆ 45,000

県防災情報ネットワークで使用している地上無線の周波数移行工事を行うとともに、現在1ルートである県出先機関との通信手段を2ルート化し、災害時の連絡・情報収集機能を強化します。

事業計画 17年度 実施設計
18年度～19年度 無線設備工事の実施

＜治安の回復＞

⑩わがまち 安全・安心ライトアップ作戦（部局連携：警察本部・安全環境部）☆ 県民参加 2,072

青色回転灯等の資機材を供与し地域のパトロールを強化します。また、門灯等を一晩中点灯する「一戸一灯運動」の全県下での普及を図り、夜間の防犯を促進します。

緊急配備支援システム整備事業（警察本部）☆ 60,838

広域組織犯罪の徹底検挙を図るため、効率的な緊急配備と効果的な事件情報の収集が可能となる緊急配備支援システムを整備します。

整備数 4箇所
財 源 国1/2 県1/2

福井警察署庁舎改修事業（警察本部） 54,346

老朽化が著しい福井警察署庁舎の設備について、改修工事を行います。

事業内容 防水等改修、給・排水管改修、外周ネットフェンス改修

◇ I T

⑧ケーブルテレビ施設整備支援事業（総務部）☆ チャレンジふくい 89,963

ブロードバンド普及率の一層の向上を目指し、ケーブルテレビの全県的整備を推進するため、市町村等が行う設備整備を支援します。

実施地域 あわら市、三国町、坂井町、松岡町

補助率 県1/6（市町村5/6）

⑨庁内情報システムの最適化（総務部） —

県庁内の既存システムの妥当性等を精査し、全システムについて最適化方法およびコスト削減目標を設定します。

平成17年度9月補正予算案 (その他の重要施策)

予算額
(単位：千円)

被災者住宅再建補助金（土木部） 70,339

福井豪雨で被害を受けた住宅の改築・補修等に要する経費に対し、申込期限を延長して、助成します。

補助対象者 自ら居住する自己所有の住宅に被害を受けた方で、その住宅を補修し、または同一市町村内において住宅を新築、購入しその住宅を所有する方

申込期限 改築 17年度末
補修、家財道具等 17年6月末（17年3月末から期限延長）

補助率 県1/2（市町村1/4 本人1/4）

県議会議事堂耐震補強事業（議会事務局） 27,500

県議会議事堂の耐震補強工事や老朽化した設備の更新等を行います。

事業計画 17年度 実施設計
18年度 工事（耐震補強、老朽化対策、バリアフリー等）

平成 17 年度 9 月 補 正 予 算 (新 世 紀 政 策 推 進 枠 事 業)

今回の補正予算では、「健康長寿」など県政の重要課題に的確に対応するため、「新世紀政策推進枠」として24事業、一般財源で約6億円を予算化します。

この結果、これまでの取組みと合わせると、新世紀政策推進枠事業は374事業、一般財源総額で約156億円となります。

(単位：百万円)

予算区分	福井元気宣言の項目	事業数	予算額	予算額のうち 一般財源
17年度 9月補正 (今回)	I 元気な産業	4 (2)	61	39
	II 元気な社会	7 (5)	183	84
	III 元気な県土	0 (0)	0	—
	IV 元気な県政	13 (8)	539	491
	計	24 (15)	783	614

事業数の () 内は新規事業数 (内数)

これまでの 取組分	I 元気な産業	127	15,204	4,156
	II 元気な社会	93	10,220	4,758
	III 元気な県土	24	10,441	1,551
	IV 元気な県政	115	6,432	4,556
	計	359	42,297	15,021
累 計	I 元気な産業	129	15,265	4,195
	II 元気な社会	98	10,403	4,842
	III 元気な県土	24	10,441	1,551
	IV 元気な県政	123	6,971	5,047
	計	374	43,080	15,635

平成17年度9月補正予算案 (職員提案型予算外事業)

今回の補正予算でも、当初予算に引き続き、既存の事業や施設の有効活用など職員の創意工夫を凝らした特別な予算措置を伴わない事業を推進することとしました。

- | | |
|---|---|
| ⑨観光と連携した河野海岸有料道路の利用促進（土木部）
（再掲） P 7 | — |
| ⑩悪質住宅リフォーム被害の防止対策（部局連携：安全環境部・健康福祉部・土木部）
（再掲） P 8 | — |
| ⑪庁内情報システムの最適化（総務部）
（再掲） P 10 | — |